

会議録（要点筆記）

| | | |
|-------|---|--|
| 会議名 | 第1回 橋本市新庁舎整備検討委員会 | |
| 日時 | 令和7年9月16日（火）午後2時00分～午後4時20分 | |
| 出席者 | 委員 | 濱田委員、川角委員、中西委員、乾委員、西井委員、大西委員、岸田委員【出席委員：7名】 |
| | 事務局 | 総合政策部 井上部長 政策企画課 辻本課長、城野課長補佐、岡浦係長、大萩主査 (策定支援業者：(株)ニュージェック) |
| 公開状況 | 公開 | |
| 傍聴者 | 1名 | |
| 次第 | 1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 委員紹介 4. 委員長、副委員長の選出 5. 委員長あいさつ 6. 議事 （1）新庁舎整備基本構想策定方針について （2）現状と課題（基本構想第1～2章）について （3）基本理念・基本方針の検討について 7. その他 （1）次回の議事（予定）と開催時期について 8. 閉会 | |
| 資料 | 資料1 橋本市新庁舎整備検討委員会設置要綱 資料2 橋本市新庁舎整備検討委員会委員名簿 資料3 橋本市新庁舎整備基本構想策定方針 資料4-1 検討スケジュール 資料4-2 基本構想骨子案と委員会議題 資料5 市民等意向把握調査実施概要 [A3 横] 資料6 橋本市新庁舎整備基本構想（検討案）【第1～2章】 資料7 基本理念・基本方針、基本的機能の検討資料 [A3 横] 参考 市民ワークショップチラシ | |
| 会議録記名 | 委員長：濱田 學昭 記名委員：乾 幸八、大西 順司 | |

1. 開会

- ・事務局より開会の挨拶、資料の確認。

2. 市長あいさつ

- ・市長より挨拶、公務のため退出

3. 委員紹介

- ・事務局より委員紹介、事務局紹介。
- ・7名の委員出席により会議成立の報告。

4. 委員長、副委員長の選出

- ・委員長に濱田委員、副委員長に川角委員を選出。

5. 委員長あいさつ

6. 議事

- ・橋本市新庁舎整備検討委員会の公開及び傍聴に関する要領案について事務局から説明し、承認される。
- ・本日の議事について公開することが決定し、傍聴者1名が入場する。
- ・会議録記名委員について、乾委員と大西委員が委員長から指名される。

(1) 新庁舎整備基本構想策定方針について

(事務局から資料3～5に基づき説明)

【主な意見】

- ・庁舎は市民のためでもあるが、職員が働く場所でもある。働き方が変わってきていることを踏まえ、検討していくことが必要。本委員会でも新しい働き方の提案をしたい。
- ・中高生に意見を聞くなど、市役所の業務について知ってもらうことは子どもたちの将来的に良いと考える。
- ・市民にとって最も重要なのは「アクセスの良さ」と「ワンストップ化」。

(2) 現状と課題（基本構想第1～2章）について

（事務局から資料6に基づき説明）

【主な意見】

- ・会議室が不足している、現庁舎は非常に狭いので、新庁舎は十分にスペース確保してほしい。スペースの確保が難しい場合は高層化する必要がある。
- ・庁舎機能が分散し、窓口や課の配置が分かりにくい。障がい者のための配慮が必要。
- ・高齢者や障がい者に配慮し、アクセスしやすい場所が重要。
- ・ワンストップ化は市民サービス向上の大きな機会。
- ・まちのひとつの顔としてどうしていくのかを検討していく必要がある。
- ・財源の確保についても重要。県内の先行事例について参考にしてはどうか。市庁舎は補助金がほぼ期待できないため、民間の投資も考えておく必要がある。
- ・場所の検討にあたっては、分散することは現実的に難しいのではないか。
- ・PFIは100億円以上の規模でないと実現が難しい可能性があるので、その他の手法も含めて検討していく必要がある。起債、補助金の積み上げて財源を確保すべき。

(3) 基本理念・基本方針の検討について（資料7）

（事務局から資料7に基づき説明）

【主な意見】

- ・現行案に大きな問題はないが「アピールポイント」が必要。
- ・「サードプレイス（居場所機能）」を庁舎エリアに配置が必要。
- ・将来の橋本市の姿と連動する庁舎像を示すことが重要。
- ・財源制約を踏まえ「譲れない要素」を明確に。

7. その他

次回会議日程 11月5日 午後2時から